製 品 安 全 デ ー タ シ ー ト

JUNSEI

1, 化学物質等及び会社情報

会社名　純正化学株式会社
住所　〒103-0023　東京都中央区日本橋本町 4-4-16
電話番号　03-3270-5426　FAX 番号　03-3270-5418
担当部門　試薬部　担当者　菅野英奇
住所　〒343-0844　埼玉県越谷市大間野町 1-6
緊急連絡電話番号　0489-86-6161　FAX 番号　0489-89-2787
作成日　2000 年 9 月 29 日
整理番号　18390
製品名　塩化スカンジウム（III）六水和物　Scandium(III) chloride hexahydrate

2, 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：単一製品
化学名：塩化スカンジウム（III）六水和物　Scandium(III) chloride hexahydrate
別名：三塩化スカンジウム六水和物　Scandium trichloride hexahydrate
化学式：Cl3Sc.6H2O
分子量：259.41
CAS　No：20662-14-0、10361-84-9(anh)
含有量：99.9%
化審法：1-651
安衛法：公表

3, 危険有害性の要約

NFPA 格付け（スケール 0～4）　(NFPA：米国防火協会)
人体＝0,　火災＝0,　反応性＝0
EC 分類：未決定
最重要危険有害性：顕著な有害性は報告されてない
◇吸入したとき：刺激
◇皮膚に触れたとき：刺激、抜け毛
◇目に入ったとき：刺激
◇飲み込んだとき：催涙、下痢、肝臓障害
発癌物質状態
OSHA(米国労働安全衛生局)：N
NTP(米国国家毒性プログラム)：N
IARC(国際がん研究機関(WHO))：N

4, 応急措置

◇吸入した場合
暴露から離れ新鮮な空気をあてる。
必要なら、バックバルブマスクか同様の装置を用いて、人工呼吸（レスキュー呼吸）をする。

医師の処置を受ける。
◇皮膚に付着した場合
汚染された衣服や靴をぬがせる。
石鹸と大量の水で、化学的痕跡が無くなるまで十分（少なくも 15～20 分間）洗い流す。
必要なら医師の処置を受ける。
◇眼に入った場合
すぐに大量の水あるいは生理食塩水で、化学的痕跡が無くなるまで十分洗い流す。
すぐに医師の処置を受ける。
◇飲み込んだ場合
嘔吐が起きるなら、呼吸しやすいように、腰より頭を低くする。
必要なら医師の処置を受ける。

5, 火災時の措置
火災爆発の危険性：火災の危険性は小さい
◇消火方法
危険でなければ容器を安全な場所に移動する。
当物質或いは燃焼副産物の吸入を避ける。
火災にさらされた容器は側面から完全に火が消えるまで水をかけて冷す。
消火水や希釈水の流出による汚染に留意する。
◇消火剤
水、ドライケミカル、二酸化炭素
◇消火を行う物の保護のために着用する保護具
防護衣,空気呼吸器,循環式酸素呼吸器,ゴム長靴

6, 漏出時の措置
処分のため、適当な容器にこぼれた物を集める。

7, 取扱い及び保管上の注意
◇取扱い
技術的対策（取扱い者の暴露防止、火災・爆発の防止の対策をとる）
注意事項（局所排気、全体換気をし、またエアロゾルや粉塵の発生を防止する）
安全取扱い注意事項（混触危険物質との接触を防止する）
◇保管
混触危険物質から分離する。
密閉した容器（アンプル等）で保管する。
冷所で乾燥した場所で保管する。
通気性の良い場所で保管する。

8, 暴露防止及び保護措置
許容濃度：確立されてない
◇暴露を軽減するための設備対策
局所或いは全体排気装置を設置する。
◇保護具
呼吸器の保護具：人工呼吸装置、防毒マスク、
手の保護具：耐薬品性手袋
目の保護具：安全ゴーグル、フルフェースマスク

皮膚及び身体の保護具：耐薬品衣類

9, 物理的及び化学的性質

外観：白色固体
外観の変化：潮解性
沸点：不適切
融点：939℃
昇華温度：800～850℃
密度（水＝1）：2.39
溶媒に対する溶解性
水：可溶
アルコール：不溶

10, 安定性及び反応性

安定性：常温常圧で安定
避けるべき条件：データがない
通常発生が予想される一酸化炭素、二酸化炭素、水以外の危険有害な分解生成物酸性塩素化合物
重合性：重合しない

11, 有害性情報

急性毒性
LD50　3980mg/kg　　経口　マウス
LD50　93358ug/kg　　腹腔　マウス
追加データ：動物において、スカンジウムの塩は、全てのシステムで抑制的行動を示した。
◇吸入：刺激の原因となるだろう
希土類塩：希土類塩の蒸気への暴露は、熱過敏、かゆみ、においや味の増感をもたらすと報告されている。
◇皮膚に触れたとき：刺激の原因となるかもしれない
◇目に入ったとき：刺激の原因となるかもしれない
◇飲み込んだとき：症状は報告されてない

12, 環境影響情報

生態毒性
藻の毒性：1200ug/L, 3-4week(s) (Population Growth) Green algae (Chlorella vulgaris)

13, 廃棄上の注意

現行法律に従って廃棄する。

14, 輸送上の注意

輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下,転倒,損傷がないように積み込み荷崩れの防止を確実にする

15, 適用法令

規制される法律はない。
◇TSCA：登録
◇EINECS：233-799-1

16, その他の情報

参考文献

①STN インターナショナル

コメント

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。

全ての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。

ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いします。

また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途，用法に適した安全対策を実施の上でご使用下さい。